

# “鮮度一番！”

No.199

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとつコラム
- 1～4 / 運営委員会で話されたこと
- 4 / 編集後記

・・・ひとつコラム・・・

## 飛べないハードル

兼古和枝

ある講演会で「4低」という言葉を知りました。

1 低姿勢 2 低リスク 3 低依存 4 低燃費。ご存知でしたか？

結婚したい理想の男性像だそうです。謙虚で、リストラの危険のない仕事に就いていて、家事ができ、節約できる男がモテるというのです。「3高」はもう過去の話なんですね。

先日、中学生の合唱コンクールを見学して、女子に比べて男子生徒の多さに驚き、あの男子生徒が全員結婚するのはなかなか厳しいなあと心配したばかり。そこに加えての4低条件でアップするハードル。息子を持つ母親の心配は深まるばかりです。

子どもの頃、祖母に「どうしておじいちゃんと結婚したの？」と聞いたら、

「いいところがひとつあれば、あとは全部我慢できる。おじいちゃんは酒を飲まなかったからね。結婚してもらって良かった。」とにっこり答えたのです。

酒飲みじゃないという理由だけで、18歳で結婚して8人の子どもを産んだおばあちゃんはずい！！子ども心に妙に感心したことを覚えています。

時代は変わって、結婚、子育ての難しさはうなぎ上り。少子高齢化の一途です。

相手に条件を要求すれば、自分にも求められるのですから、ここはお互いにハードルを下げて歩み寄れませんかねえ。付加価値が付きすぎると値段も上がりますので、結婚に関しては先物取り引きがおススメです。あまり立派になる前に、さあ、直感を信じてハードルを飛び越えましょう。



## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成27年11月11日(水) (AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

NHKの朝ドラ「あさが来た」の高視聴率は、うなずける。記念研修に参加した4名全員が見ていたのだ。抗夫の妻カズは、「死と隣り合わせの仕事で抗夫たちは夢や希望は持てない」とつぶやいた。私たちは、夢も希望も持つことの出来る幸せを大切にしたい。

次回の運営委員会は、12月はお休みで新年1月6日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

## 1. 参加報告

### 三条女性会議 20周年記念研修に参加して

西方久子

三条女性会議が発足し、あれから20年、早いね。平成8年3月6日発行「創刊号」から、今回の会報『“鮮度一番！” No.199』です。(継続は力なり)

20周年記念研修に、11月3日～4日の2日間、4名(野崎・田辺・安室・西方)の元気おばちゃん達が参加しました。安室さんの企画で、横浜と東京で「学ぶ・楽しむ・食べる」を目的とした格安料金の珍道中です。(?)

1日目は、JICA横浜の海外移住資料館で、アジア女性資料センター主催の『フィールドワーク・ツアー「戦後70年」をきっかけにたどる女性たちの生きた軌跡』に参加。若い女性たちの参加に驚くが、女性問題研究者かな?資料館担当者から、海外で暮らす日本人移住者(南米・ブラジルなど)の経験・貢献など日系人の意気込みや活躍を聞いた。(疲れて座るおばちゃん60代)後半は、女性移民のあゆみをアジアの身売りや出稼ぎとしての女性達を人権問題として話され、移民移住の『表と裏』を実感した。

夜は、中華街へ行き、タクシー運転手お勧めのお店へ。えっ～、凄い店に入ってしまった!(桁違い、ミスに気づき、ビックリポン!?)計算しながら注文、でもとっても美味しかったよ。大満足!!(笑)

2日目は、日本国民の一人として、国会議事堂参議院の見学。(周囲は警察車両多く、両議院会館も立派すぎだよ!これでいくらなの?)記帳・荷物ボディチェック後、参議院議事場へ。(係員はみな防弾チョッキ着用)集合の地下1階から議事場見学の地上3階まで、一気に階段を上るのは、肥満と膝痛の私には辛すぎる。

いつもケンカやヤジの国会中継しか見ていないが、議事場は素晴らしい!昭和11年完成とは思えない建築で、当時の建築・工芸の粋を集めた天皇陛下の御休所やできるだけ国家品使用の議事場(ステンドグラスの天窗、声が拡散しない工夫など日本の技術満載)、絨毯清掃用の吸引講の設備も凄い!国会議事堂は別世界である。(ここに来ると議員になりたい人の気持ちわかるね)

午後は、三菱一号館美術館で開催されている「プラド美術館展(スペイン宮廷美への情熱)」を見学。芸術に疎い私ですが、15世紀以降の作品なのに行き届いた保管技術と日本で見られる感動!繊細さと色彩の美しさに魅了された。なかでも「ロザリオの聖母(1655)」が印象に残った。

帰路の東京駅で、しっかり主婦3人は、家族のためにお弁当を買い込んだ。私は、主夫修行3年目、夕食作り(白菜肉鍋・ポテトサラダ)と送迎をしてくれる夫にお土産を買い、楽しかった研修を終えた。(仲間同士の旅行は最高!!)

アジア女性資料センター フィールドワークツアー 第2回  
海外移住資料館でみる女性移民の歩み——日本から海外へ渡った女性たち

安室久恵

アジア女性資料センターが主催するフィールドワークに三条女性会議のメンバー4人で参加した。参加者は十数人。ほとんどが若い世代で、男性もいたが、どういう活動をしている人たちが互いに紹介もなく、すぐに移住資料館の学芸員から順次説明を受ける。

海外移住資料館では、明治以降、ハワイに始まり、北米、中南米へ日本人が海外移住していった歴史を知ることができる。移民政策により海外に送り出された人々は100万人ともいうが、実数は把握されていないという。移住後の追跡調査が難しかったとか。なぜ人々はトランクひとつで海外へ移住しなければならなかったのだろうか。国内で生きる場がなかったのか、(誰か)甘い期待で移住に誘い移民船に乗せはしなかったか……。

第二次世界大戦前中後に海外にいた日本人は辛酸をなめた。国の支援も情報もなく、自らの肉体と精神を鼓舞して人生を切り開いた人たち。特にブラジルでは農業分野を始めさまざまに活躍、貢献して現地での地位を固めた。150年の時を経て、今や5世6世の時代、多民族の混血を経て海外にその存在を示す「日系人」の努力を称賛している。ハッピーエンド? 移住者の生の声をデジタル資料で見ることができるが、時間が足りなかった。

どんな展示でも立場によって内容は変わる。スペースの割り振り、事象の明と暗、どこに焦点を当てるか。女性史からの視点がほとんどない。参加者の中からもなぜ展示の内容が北米中南米に限っているのか。アジアはなぜ除外しているのかと疑問が出された。そこか! 私自身が感じたもの足りなさの元は。

そして場所を移動して、座学。講師は嶽本新奈さん(一橋大学大学院言語社会特別研究員、専門は日本近代ジェンダー史)、著書に『「からゆきさん」—海外〈出稼ぎ〉女性の近代—』がある。明治以降日本人が移住していく過去の歴史の中での裏面史ともいえる、主にアジアへの「からゆきさん」といわれる娼妓として移住して行った女性たちに着眼した研究である。労働力としての単純な移民でなかったこと、軍靴とともに移転していったともいえる面があり、国内外から複雑な視線にさらされたであろう女性たち。若い研究者が取り組むには大きな課題だと思った。1時間ではとても足りない内容で消化するには難しかった。

国会議事堂見学の巻!

野崎ミチコ

研修2日目、快晴。横浜の馬車道を歩く私たち4人は、昨夜の中華街でタクシー運転手さんに勧められた老舗「萬珍樓 まんちんろう」の話で大盛り上がりです。お店の入り口にあったコース料金の設定はランチ用で、お店に入って見たメニューは、ぐっと大人の料金。「あのタクシー運転手さん、私たちがお金持ちに見えたのね～」と笑いつつ、田辺さんと西方さんがお料理をセレクトしたのですが、期待通りの美味しさと、会計を済ませでのリーズナブルさ(お店の夜の設定の半分くらい?)に、これまた笑ってしまったのでした。

横浜から東京駅に出て、タクシーで国会議事堂へ到着。国会の参議院見学は、午前9時から午後4時までの毎正時に案内が、スタートします。受付の女性が、制服の下に防弾チョッキを着ているのと、国会に入る前の手荷物検査と金属探知機を通る厳重な警戒態勢に、少し緊張しました。

そして11時から私たちのグループの案内が開始です。国会議事堂は、懸賞募集で1等に当選した

渡邊福三氏の設計図案で、昭和11年（1936年）に完成するまでに17年をかけ、特に室内装飾、設備材料については国産品にこだわって建築されたそうです。議場の傍聴席からの見学でしたが、話声が、どこかに反響することなく、とても聴きやすくなっていると感じました。

ここからは、「へえ～、そうなの！」の3連発。

その1、議場には、使われていない席が多くあるが、どうしてか？それは、貴族院時代からの議場をそのまま使用しているため、議員数（242名）よりも多くの議席460席がある。

その2、長い廊下には、下の方に小さな穴があいているが、何の穴か？それは、議事堂内に敷かれた赤い絨毯の総距離が、4,000メートル以上もあるので、掃除をする際そこからゴミを排出するためのもの。

その3、狭くて高い所にある階段の電球はどうやって変えているのか？2階の電球は、3階の床から変えられるようになっている。

最後は、国会議事堂をバックにニッコリ記念写真を撮ってきましたが、一緒に行けなかった皆様、どうぞネットで「国会体験・見学」と検索して「ようこそ参議院へ」映像で見る「参議院見学のご案内」をクリックしてください。実際に行ったような気分が味わえますよ～。

## 2. 各種審議会等について

昨年まで頻繁に開かれていた三条市介護保険運営協議会ですが、今年はまだないようです。

## 3. 三条女性会議研修会&新年会について

研修会&新年会の日時が決まりました。日時は、来年1月23日(土)午後3時から5時まで“脳かつ”を体験し、その後近くのお店で新年会を行います。寒さで部屋に閉じこもりがちになりますが、寒さを吹き飛ばす笑いとおしゃべりで健康寿命を伸ばしましょう！予定に入れておいてくださいませ。

## 4. 「三条女性会議」の改名について

当会が20周年を迎え、時代の変化と共に会の進むべき方向性に付随して会の名称「三条女性会議」の改名も考えたらどうかとの提案がありました。

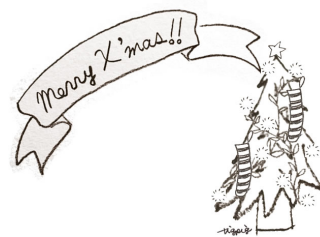
「三条女性会議」の「女性」に縛られず、障害者・健常者・LGBTI セクシャル・マイノリティーズなどさまざまな「異なり」をもつ身体を生きる人たちの「声」をひろい、「次の世代のために、どんな社会を創っていけばいいのか」を考えていきたいというのが主旨です。

「三条女性会議」の名前がやっと認知されてきて、改名するのがもったいないとの意見もありますが、皆様はどうお考えになりますか？ご意見、新しいネーミング等どんどんお聞かせくださいますようお願い致します。

### 編集後記：

主人を送り出す玄関先のモミジやニシキギが真っ赤に染まり、その落ち葉を踏んで夫が一言。「レッドカーペット！」私には掃除の大変なやっかいものでしかない落ち葉が、定年間近のくたびれたおじさんを名優にしてくれています。

今号も読みごたえのある鮮度一番になりました。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>